

令和3年度 シラバス

| | | | | | | | |
|-----|---|-----|-------------|----|------|----------|---------|
| 教科 | 公民 | 科目 | 政治・経済 | 学年 | 第3学年 | 学科 類型 | 情報ビジネス科 |
| 単位数 | 2単位 | 教科書 | 政治・経済(東京書籍) | | | | |
| 副教材 | 最新図説 政経(浜島書店)、政治・経済ワークブック(愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会公民部門編) | | | | | | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>1 年間を通して、ワークブックを全編仕上げるにより、生徒の実力を養成しなおかつ自信を持たせて自尊感情を高めるように取り組んでいきます。</p> <p>2 広い視野に立ち、現代社会について主体的に考察させ、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養っていきます。</p> |
|------|---|

| | |
|-----------|---|
| キャリア教育の視点 | <p>進学希望者・就職希望者がいるため「大学でどのような勉強をするのか」あるいは「どのような職種の企業に就職するのか」について考えていかなければなりません。学校設定科目の「キャリアデザイン」で学んだことを最大限に活かしつつ、すべての生徒に政治・経済の基本事項が定着するように教材を精選して学んでいます。</p> |
|-----------|---|

| | | 学習計画及び内容 | | 考査 |
|-------------|-----|--------------------|--|------------------|
| 1 学 期 | 4月 | 1節 民主政治の基本原則 | 社会契約論・イギリスの議会政治の歴史から、民主政治の基本原則について学んでいきます。 11章ある日本国憲法について丁寧に条文を見ながら理解します。 市場経済(資本主義経済)の仕組みを説明できる力を養成します。 | 中間考査 期末考査 |
| | 5月 | 2節 日本国憲法の基本原則 | | |
| | 6月 | 3節 日本の政治機構 | | |
| | 6月 | 4節 現代政治の特質と課題 | | |
| | 6月 | 5節 現代の国際政治 | | |
| 2 学 期 | 7月 | 1節 現代の資本主義経済 | 国の経済にとって、産業が発展することの意義とともに、社会保障制度が充実することが経済に与える影響について一緒に考えていきます。 少子高齢化・地域社会の活性化・労働環境の改善・中小企業の活路・日本の「食」と「農」などについて、自分のこととして理解を深めていきます。 | 中間考査 期末考査 |
| | 7月 | 2節 現代経済のしくみ | | |
| | 8月 | 3節 日本経済の発展と産業構造の変化 | | |
| | 9月 | 4節 福祉社会と日本経済の課題 | | |
| | 10月 | 5節 国民経済と国際経済 | | |
| 3 学 期 | 11月 | 1節 日本社会の諸課題 | 地球社会で日本がなすべきことは何か等について思索を深めます。 | |
| | 12月 | | | |
| | 1月 | 2節 国際社会の諸課題 | | |
| | 2月 | | | |
| | 3月 | | | |

| | |
|-------|--|
| 学習の方法 | <p>教科書・図説・ワークブックを常に活用し、ある重要語句についての知識が定着するように同じ語句について3冊で3回に渡り確認させています。</p> <p>身に付けた商業科目の専門知識を活かして即社会で働く生徒、簿記などの力を付けて経済学部系の大学に進学する生徒がいる中で、両方に通用するよう基本事項(基礎基本)が身に付くよう指導しています。</p> |
|-------|--|

| | |
|-------|--|
| 評価の仕方 | <p>授業態度(授業の姿勢)・定期考査の成績・課題・提出物などを総合的に評価します。</p> |
|-------|--|

| | |
|----|---|
| 備考 | <p>授業の進捗状況により、学習計画及び内容について変更されることがあります。</p> |
|----|---|

